

「チャレンジ」と「可能性」をスローガンに 時代を動かす画期的な製品づくりを目指して

誓和工具 株式会社

1973年に作業工具メーカーとして創業した誓和工具株式会社。従来の工具製造技術を応用し、近年は自動車部品、荷役機器部品、航空機部品など様々な業界の製品を製造。「不可能を可能にし、今までにない物をつくる企業」として、顧客の厚い信頼を獲得しています。

今回は代表取締役社長の楠本正行氏にお話を伺いました。

SEIWA TOOL



誓和工具 株式会社

代表取締役社長：楠本 正行 氏
本社：大阪府八尾市福栄町2-15
創業：1973年（昭和48年）
従業員数：129名
事業内容：型打鍛造、プレス鍛造
機械加工、組立

— 強い意志をもって26歳で創業

私は、幼少期より会社を興すことを志していました。なぜならば、私の父が企業家であり、父が仕事をしている姿に憧れを抱いたからです。そして、念願かなって、26歳の時に作業工具メーカーとして創業しました。製造業を選んだ理由は、当時の日本では工業製品が不足していたので、1つでも多くの製品を世に出すことができれば、自国の発展に貢献できるのではないかと考えたからです。製造業の中でも工具製造を選んだのは、企業から一般家庭まで多くの人々が使用する作業工具を作ることができれば、人々の生活を便利にできると確信していたからです。創業時の主な製品はペンチやニッパーでした。力を入れやすく、手を離せば自然に戻るようにするために、ニッパーにはバネが入っているのが一般的ですが、それを世界で初めて開発したのは当社です。現在は、工具製造で培った鍛造技術を応用し、自動車部品、荷役機器部品などさまざまな製品を製造しております。



プロ仕様の精密かつ
実用的な工具のラインナップ

— 鍛造品一貫生産の強み

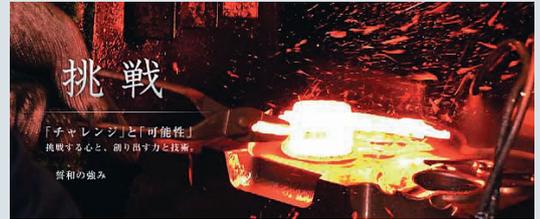
鍛造工程のみ、もしくは後加工だけ、と得意分野に特化する企業が多い中、当社は、金型製作から鍛造、後加工、仕上げまで一貫して社内に対応しています。それゆえ、各工程でお客様の要望を取り入れることが可能になり、よりニーズを満たす製品づくりを実現しています。また、工程の管理が社内だけで完結できるため各工程における品質管理をより厳密に行うことができ、かつ製品が完成するまでのリードタイムを他社に比べて短くできました。



鍛造品を設計から機械加工、組立まで
一貫して製造できるのが同社の強み

— “不可能を可能に” をコンセプトに

当社では「人間が考えたことは実現できる」をスローガンに、社員は「不可能を可能にする」という意欲を持って日々業務に取り組んでいます。その中で産み出されたのが、「超シェーピン



誓和工具(株) 京都工場 (京都府綾部市)

鍛造から機械加工、完成部品の組み立てまで行える主力工場。自動車の駆動系部品や足回り部品、荷役機器部品、作業工具などの精密鍛造品を生産している。鍛造機などの生産設備を原則、白色に統一するなど鍛造業界の3Kイメージを一掃し、クリーンな環境を整えている。

グ」技術です。この技術は業界の常識を超える大胆な発想で、今までの鍛造では不可能だった精度を創り出すことを可能にしました。表面を鏡のように美しく仕上げ、側面の加工を不要にし、パーティングラインの存在すら忘れてしまうほどの美しい仕上がりを実現できることが特徴です。見た目以外にも、原材料の歩留り向上や加工時間の短縮を可能にします。

この技術の他にも当社では、三次元鍛造という新工法を開発しました。それまではバラバラに作られていた複雑な形状の製品も金型に上下左右から同時に圧力を加えることで、複雑な形状をひと工程で成形可能にした技術です。三次元鍛造を用いて製造した製品はコンパクトかつ軽量ながらも高い強度を実現し、国内はもちろん、海外からも引き合いが多くなっています。また、非常に高い強度と精度を要求される自動車部品の製造には、トリミングと穴抜きを同時に行う「2in1工法」で対応しています。



特許技術 三次元鍛造

—当社の果たすべき役割

当社が一番の命題は、人材の育成だと考えています。なぜならば、鍛造は他の業種に比べ機械による自動化が困難であり、技術伝承が必要不可欠だからです。

技術を教えるには、実際に機械を動かしながら、教育するのが最も効果的だと思います。しかし、多くの企業では機械が生産ラインに組み込まれているため、機械を止めて操作を教えることができません。この悩みを解決するため、当社の京都工場内に技術トレーニング専用の鍛造機と電気炉を1台ずつ設置する計画をしています。当社の従業員はもちろん、他の鍛造メーカーの方にも使用いただけるようにすることで産業全体の技術力向上に貢献したいという思いです。

鍛造工法には、各社独自の技術がありますが、ベースは共通なものです。当社の施設を使用いただくことで、鍛造技術者の基礎力の向上に貢献できればと考えております。

—今後のビジョン

継続的に、鍛造業界の発展に貢献できたらと考えております。取引先の製鋼所と相談しながら、より商品特性に沿った新しい材質へ挑戦し、新しい製品の実用化に取り組みたいと思っています。

また、おかげさまで当社はお客様から「困った時は誓和に頼んだらやってくれる」という評価をいただいておりますので、これからも維持できるよう努めていきたいです。このような評価をいただけているのは、当社の技術力もありますが、従業員の持つ、ものづくりに対する熱意によるところが大きいと考えています。「過去に例がない加工の相談でも拒まない」、「手の込んだもの、難しいものほど闘志がわく」、「どこにもないものを作ってやる」、「マネはしたくない」。このような挑戦する心を従業員が絶やすことなく持ち続けられる会社でありたいです。自ら発案したものが形となっていく、ものづくりの醍醐味を若い世代にも体験して欲しいと思っています。

「もの」を作るとき、大切なのは「信念」。妥協することなく綿密な管理体制のもと、作業を進めなければなりません。数千、数万にも及ぶ部品、製品の数々。そのひとつひとつに、当社の自信とこだわりを注ぎ込むことを大切に、お客様と私たちの明日に繋がる製品づくりを目指し、夢を形へとサポートしていきます。

—貴重なお話をいただき、
誠にありがとうございました